



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.344・345 2019

鹿児島ワイズメンズクラブ

4月号

| | | |
|--------|---------------------|--|
| 国際会長 | Moon Sang Bong [韓国] | Yes, we can change. 「私たちは変えられる」 |
| アジア会長 | 田中博之 [東京多摩みなみ] | Action 「アクション」 |
| 西日本区理事 | 遠藤通寛 [大阪泉北] | Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future. 「未来に残すべきものを守り育てる」 |
| 九州部部长 | 上村真智子 [熊本ジェーンズ] | Let's become the Y's Men to convey the charm of Y's, the power of Y's, the activities of Y's. 「ワイズの魅力を、ワイズの力を、ワイズ活動を伝えるワイズメンになろう!」 |



鹿児島クラブ会長 松永 英明

「楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!!」

3月例会報告

鹿児島ワイズメンズクラブ3月例会は熊本みなみクラブの藤元会長をゲストに迎え、3月26日に開催。卓話は着物着付け教室を運営されている岩下淳子先生をお呼びして風呂敷の包み方教室を実施しました。鹿児島クラブでは13年前にビニールのレジ袋を出来る限り利用せぬように「風呂敷利用促進運動」と銘うって京都の一流の風呂敷屋さん、ワイズ風呂敷を注文し作成してファンドの商品としました。最近ではマイクロプラスチック問題が深刻化しております。様々なプラスチック製品が河川や海を汚染している問題です。私どもは既に13年前にこの問題に注目し、活動を開始しましたが時代が早すぎたのでしょうか、活動は下火に…。今、再びこの「風呂敷利用促進運動」を勧める時が来たようです。岩下先生のわかり易い説明と実際に風呂敷を使っの講習は実に楽しいものでした。一升瓶、五合瓶、ワインボトルに様々なモノを包む事が可能な風呂敷はミラクルです。皆さん、楽しみつつも時を忘れて包んでおりました。時代が鹿児島クラブの考えに付いて来ました。環境問題を考える上でマイクロプラスチック問題は外せない問題です。今回の講習会＝卓話は楽しみつつも大変意義深いものでした。今後の展開に光が差しました。

鹿児島ワイズメンズクラブ 中堀 清哲



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



会長通信

鹿児島クラブ会長 松永 英明

楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!

日増しに春めいてまいりましたが、いかがおすごでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

まず、今月1日に熊本ひがしクラブ15周年、熊本スピリットクラブ5周年の合同例会に出席させていただきました。九州部から70名の有志が集まり、両クラブの設立準備からの思い出話には大変感銘を受けました。鹿児島クラブにとって、クラブを誕生させることは非常に厳しい道のりではありますが、地域にとっても、自分達にとっても必要なことではないかと思っています。素敵な記念合同例会に参加させていただき感謝申し上げます。

また、27日には熊本にしクラブ・熊本ネクサスクラブの10周年例会が開催されます。こちらも満員御礼だそうです。

20日土曜日には、鹿児島市民文化ホールにおいて第5回鹿児島YMCA発表公演会が開催されました。子供達が、日頃の練習の成果をステージ上で楽しくパワフルに演技を披露してくれました。子供達の元気な姿、明るい表情は鹿児島クラブにとって大切な宝物です。これからの鹿児島クラブにとって大切な宝物です。これからの鹿児島YMCAの活動が楽しみです。ますますのご活躍を祈念致します。

まだまだ行事が続きますが、どうぞご自愛くださいませ。



理事通信

西日本区理事 遠藤 通寛

未来に残すべきものを守り育てる

大阪でも桜の開花宣言がありました。大阪造幣局の通り抜けも4月9日から15日までと発表があり、私の家の周辺もかなり賑わいをみせます。

私事ですが、昨年いただいた胡蝶蘭の鉢、24個のうち4つが枯れました。残った20鉢の内、7鉢が花を咲かせています。

同じように肥料や水をやり、温度管理をしましたが違った成長をしています。花が真っ直ぐ伸びず困っていますが!

ワイズメンズクラブも同じとは言えませんが、各クラブとも当初、熱い思いを持って設立されたに違いありません。

クラブの目的もはっきり定め、世のために現在も奉仕活動を続けておられることと存じます。

自分の所属するクラブは、他のクラブと何処がどう違うのでしょうか。良いところはどこか、悪いところはどこにあるのか。成長を妨げている要素は何なのか? 友達を誘いたくなるようなクラブとはどのようなクラブなのでしょう。

4月、7月、1月は先の計画を練るには良いシーズンだと思います。

先日の阪和部YYYフォーラムでリーダーとお話しました。

現在大阪YMCA堺に所属するリーダーは13名だそうです。リーダーに「20名以上にしよう」と提案しました。そのためにわれわれが手伝えること、イベントを提案してみました。

4月はわくわくする季節ですね。支えなくなるYMCA、入りなくなるワイズメンズクラブ!

4 企画例会報告

Planning meeting report

日 時：平成 31 年 4 月 9 日 火曜日
 19：00～21：00
 場 所：旧 珈琲館かみむら
 出席者：神村、中堀、園屋、
 徳田、松若、松永



今月の樹

ハナミズキ

別名を「アメリカヤマボウシ」といい、日本には明治中期に渡来した。日本にもともとあったのは「ヤマボウシ」で、はなみずきに似ているが、あでやかさはない。ハナミズキの花弁と思われているものは総苞片で、本当の花は中央に固まっている。よく見ると一つ一つにちゃんと4枚の花弁と雄しべがある。「ミズキ」は山に群生している喬木で、ハナミズキと同じ頃、枝を覆うように一面の白い花を付ける。葉に特徴があり一度見ると忘れない。「トサミズキ」や「ヒユガミズキ」は灌木であるが、葉の特徴は同じで花も美しい。「ハナミズキ」にはピンクのかわいい花を付けるものがあり「ベニバナハナミズキ」と呼ばれる。ハナミズキは5月の花も美しいが、秋の紅葉も素晴らしい。

3 定例会報告

Regular meeting report

日 時：平成 31 年 3 月 26 日 火曜日
 場 所：ジェイドガーデンパレス
 出席者：11 名
 司会者：松若ワイス

| | | |
|---------|--------|-------|
| 3月例会の記録 | クラブ在籍者 | 14名 |
| | 出席者 | 9名 |
| | メネット | 0名 |
| | ゲスト | 2名 |
| | ビジター | 0名 |
| | メイクアップ | 0名 |
| | 3月出席率 | 64.3% |

献金有難う
もしゃげます。

3月 合計金額 ¥2,000

2019

4月の聖句

「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。」

エフェソの信徒への手紙5章2節

鹿兒島ワイズメンズクラブ

チャータ 1990年2月12日
 事務所 〒890-0056
 鹿兒島県鹿兒島市下荒田3丁目43-7 1F
 鹿兒島 YMCA 内
 定例会 毎月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス
 企画例会 毎月第2火曜日 場所：旧 珈琲館かみむら
 (時間は企画例会・定例会とも 19：00～21：00 まで)

5月 企画例会
 日 時：5/14 (火) 19：00～21：00
 場 所：旧 珈琲館かみむら

5月 定例会
 日 時：5/28 (火) 19：00～21：00
 場 所：ジェイドガーデンパレス

鹿児島YMCAについて

日本35番目のYMCAは、
鹿児島から世界の未来に向けて羽ばたきます。
幕末の混乱期、鹿児島に勃発した薩英戦争から遡ること19年前
当時のイギリスは産業革命の嵐の真ただ中、ジョージ・ウィリアムスを中心に12名の若者による、YMCAの発祥となる世界最初の青少年運動がロンドンで始まったのは1844年のこととなります。

YMCAは Young Men's Christian Association の略で「キリスト教青年会」を意味しています。
キリスト教精神に基づく団体ではありますが、誰もが参加できる、性別・人種・宗教・国家の隔たりを越えひとつになるという願いを込めて、世界最大のボランティア組織として成長をとげました。
日本でも明治11年(1880年)に東京YMCA、その後、大阪、横浜、神戸のYMCAが設立され、
幾多の困難を乗り越え、約130年にわたる長い歴史をほこっています。

しかし、鹿児島は遅れること100年以上経った20数年前から、鹿児島YMCA設立の小さな炎が灯り始めたのがきっかけで、昨年から急に機運が高まり、2008年11月24日に発起人会が発足しました。
そして、ついに2009年6月29日の総会で、念願であった任意団体鹿児島YMCAの創立が決定しました。今後、公と私
の間に立って活動するYMCAの立場を明らかにするため、公益財団法人を目指していきます。

YMCAは皆さまのボランティアと会費、寄付でまかなわれる団体です。皆様県民の一人ひとりのお力添えがなければ、
鹿児島YMCAの使命を果たすことができません。
今後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

鹿児島YMCAの使命

私たちは、日本にはじめてキリスト教が伝えられた鹿児島の地で、
世界に視野を広げた郷土の先人たちの進取の気を受継ぎ、
イエス・キリストの愛と奉仕の精神と、世界YMCA運動の使命に基づき、次の使命を果たします。

私たち鹿児島YMCAは

生涯を通して学び、心豊かな人づくりのために働きます
人と自然が共生できる地球環境をつくるために働きます
心身ともに健康にらせる社会をつくるために働きます
愛に満ち、痛みを分かち合える社会をつくるために働きます

そして、私たちの活動を通じて、鹿児島、日本、さらに、世界の人たちに命と平和の尊さを伝えます。